

公害の原点として鉱毒事件だけではなかった足尾銅山問題。田中正造没後 100 年に問う！

足尾銅山・ 朝鮮人強制連行と戦後処理

古庄正著 四六判 216 ページ 定価：本体 2400 円＋税

監修：山田昭次



鉱毒事件だけではなかった足尾銅山問題。
朝鮮人強制連行と戦後処理問題を明らかにする！

「…古河鉱業足尾銅山では終戦時に足尾銅山は一方において補償交渉を長引かせながら、他方ではGHQと日本政府に働きかけて朝鮮人労働者の即時送還を図り、朝鮮人聯盟との確約を実質的に破棄し、やらずぶったくりの戦後処理を強行した企業であったということである」。

「朝鮮人労働者の帰国要求を逆手に取って「暴動」事件をでっち上げ、米占領軍まで利用して補償抜きの即時送還を強行する一方、補償交渉の妥結を引き延ばす計略が、見事に功を奏したのである」。—本文より

【著者紹介】古庄正（こしょう・ただし）

1933年、大分県生まれ。
1962年、早稲田大学大学院商学研究所博士課程修了。
1971年、駒澤大学経済学部教授。
1999年、駒澤大学経済学部選定年制により退職。
2012年、逝去。

著書：

〔編著〕

『強制連行の企業責任—徴用された朝鮮人は訴える』創史社、1993年12月。

〔共著〕

『日本企業の戦争犯罪—強制連行の企業責任3』創史社、2000年12月。

『朝鮮人戦時労働動員』岩波書店、2005年8月。

【主な目次】

古庄正氏の朝鮮人強制連行研究の理解のために…山田昭次

【古庄正論文】

八月十五日を迎えるたびに

強制連行における企業責任

朝鮮人強制連行と戦後処理

—日鉄釜石製鉄所を事例として

足尾銅山・朝鮮人強制連行と戦後処理

足尾銅山・朝鮮人戦時動員の企業責任

—村上安正氏の批判に答える

朝連資料に見る企業の戦後処理

供託をめぐる国家責任と企業責任

古庄正先生を偲ぶ

古庄正 著書・論文・随筆目録

発行：創史社 185-0013 東京都国分寺市西恋ヶ窪 4-7-16 TEL,FAX:044-987-5584 sousisha@ybb.ne.jp

●書店に注文する場合は下記に記入してお申し込み下さい。また、お近くの図書館にリクエストして下さい。

書店名	注文	発行＝創史社 発売＝八月書館（電話：03-3815-0672）
	冊	足尾銅山・朝鮮人強制連行と戦後処理 古庄正著 定価：本体 2400 円＋税 ISBN978-4-915970-43-6 C0036 ¥2400E お名前 電話番号